

皆様からお寄せいただいた賛助会費や共同募金は、地域福祉活動の推進のための地域の活動や区社協の事業の財源として活用します。



令和元年度

山科区社会福祉協議会 事業計画

少子高齢化や人口減少が進む社会にあって、地域の福祉課題は多様化し、地域からの孤立が問題を複雑化・深刻化させています。国は「地域住民が互いに支え合い、自分らしく活躍できる地域コミュニティづくりを進めることで、暮らしと生きがいとともに創る「地域共生社会」の実現を目指す」という方向性を示しました。

令和元年度は、社協をめぐる状況や京都市社協の方針を踏まえ、

- (1) 第4期山科区地域福祉活動計画の策定
- (2) 生きづらさ、生活のしづらさを抱えている人への理解の促進
- (3) 身近な地域でのつながりと支え合いの創出
- (4) 災害時に要配慮者に適切な支援が提供されるための取組の推進を重点課題として取り組みます。

学区社協支援事業

学区社協活動(福祉の理解を深める「学び合う活動」、仲間づくりや地域交流を図る「ふれあう活動」、生活に困難を抱えた個人を支援する「支えあう活動」)・健康すこやか学級事業等を支援します。



モーニングカフェ (陵ヶ岡学区)

セーフティネット事業 生活支援事業

日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)、生活福祉資金貸付事業、地域あんしん支援員設置事業、地域支え合い活動創出事業を進めます。



高齢者の「通いの場」運営に関する情報交換会で山科わっはっは体操を体験

ネットワーク支援事業 企画広報事業 会務運営事業

介護者の会や子育て応援団の活動支援等、高齢者・障がい者・子育てに関する支援、福祉関係団体や施設への支援、山科社会福祉大会、研修会の開催、機関誌 Be-Vo の発行、賛助会員の募集等を実施します。



あそびの広場

区ボランティアセンター事業

ボランティア活動に関わる各種講座、山科区災害ボランティアセンター設置・運営訓練、ボランティア保険・行事保険の取次等を行います。



ボランティアグループ連絡会
公開研修会 普通救命講習

参加してみよう

学区の事業に参加しませんか？

居場所や健康すこやか学級、相談受付や見守り活動

等さまざまな事業に取り組んでいます。 **問** お申込み・お問い合わせ

介護の悩み、いろいろ話したい

介護者の会「はげましの会」

毎月第1水曜 13:00～16:00

未就園児親子あつまれ

子育て応援団サロン 毎月第3火曜(8月は休み) 10:00～11:30

あそぼランド (共催/山階児童館・山科老人デイサービスセンター)

7/29(月)～31(水)10:00～12:00 中庭プール

8/1(木)～2(金)10:00～12:00 室内遊び

精神障がい者と夏まつりで楽しもう

山科こころのふれあい夏まつり (主催/山科こころの健康を考える会) 8/1(水)14:00～16:00 アスニー山科

障がい児親子で集いませんか？ 障がい児と一緒に遊ぶボランティアをしませんか？

障がい児長期休暇余暇支援「あそびの広場」

(共催/だんごやましくらぶ・東部障害者地域生活支援センターらくとう・保健福祉センター子どもはぐくみ室) **問** お申込み・お問い合わせ

7/30(火)東総合支援学校、8/9(金)小野小学校

福祉活動者への表彰、福祉の講演

山科社会福祉大会 **問** お申込み・お問い合わせ

11/9(土)14:00～16:30 東部文化会館



健康すこやか学級 (小野学区)

学んでみよう

ボランティアや地域のちょっとしたお手伝いをはじめてみたい方へ

ボランティア基礎講座・山科区地域支え合い活動入門講座合同企画「やってみよう！ボランティアはじめてみよう！支え合い」

7/29(月)10:00～12:00 **問** お申込み・お問い合わせ

「認知症」への理解を深める第一歩

公開研修会 認知症あんしんサポーター養成講座 (主催/ボランティアグループ連絡会)

8/19(月)10:00～12:00 **問** お申込み・お問い合わせ

知的障がい者の「自分らしい暮らしづくり」を考えます

公開合同学習会 知的ハンディのある人が地域で生活するために (共催/手をつなぐ育成会山科支部)

8/5(月)10:00～12:00 **問** お申込み・お問い合わせ

知的障がい者と活動してみたい方へ

知ってみよう！触れてみよう！体験！ボランティア講座～知的障がいのある人とともに～

10/26(土)10:00～12:00 **問** お申込み・お問い合わせ

手話をはじめてみたい方へ

ふれあい手話講座(6回連続) **問** お申込み・お問い合わせ

〈昼の部〉水曜(1/22～2/26)14:00～15:30 〈夜の部〉木曜(1/23～2/27)19:00～20:30

要約筆記(文字通訳)をはじめてみたい方へ

要約筆記(文字通訳)ボランティア入門講座(2回連続) **問** お申込み・お問い合わせ

2/15・2/22(土)13:30～16:00



公開合同学習会

知的ハンディのある人が地域で生活するために



※ **問** お申込み・お問い合わせ **このマークがある催事・イベントは事前のお申込みが必要です。**

山科区社会福祉協議会 TEL:075-593-1294 FAX:075-594-0294

やましくらぶ

記載がない事業は、お申込み不要・区社協所在地での開催です。その他講座や各種事業等はホームページや回覧チラシ、市民しんぶん山科区版、山科区公式アプリ「やましくらぶ」等でもご覧ください。

山科区社会福祉協議会 令和元年度事業予算

収入予算 **26,825,847** 円

会費収入(賛助会費・一般会費) 12,385,000 円

補助金・受託金収入 7,667,000 円

共同募金配分金収入 5,879,847 円

その他収入 894,000 円

支出予算 **26,825,847** 円

学区社協支援事業 16,512,000 円
うち賛助会費(9,510,000円)・共同募金配分金(3,282,000円)

セーフティネット事業・生活支援事業 3,036,000 円

ネットワーク事業・企画広報事業・会務運営事業 5,647,847 円
うち賛助会費(2,490,000円)・共同募金配分金(2,167,847円)

区ボランティアセンター事業 1,630,000 円
うち共同募金配分金(430,000円)

山科区社会福祉協議会の賛助会費・赤い羽根共同募金へのご協力が山科区の地域福祉活動を支えています。

あなたの身近でも・・・

学区社協活動

各学区社協ではさまざまな事業を通じて地域の絆を深め、生活課題の解決や孤立防止に向けた福祉のまちづくりを進めています。



寝具クリーニング (西野学区)



敬老のつどい (百々学区)



大塚らくわ食堂 (大塚学区)

賛助会員への加入をお願いします

社協が進める事業には、学区社協支援、企画広報、ネットワーク支援、セーフティーネット、生活支援、区ボランティアセンター、会務運営事業があります。その事業運営の財源は、賛助会費、赤い羽根共同募金の配分金、皆様からの寄付金、京都市や京都市社協からの補助金・受託金等です。

賛助会費は、地域福祉活動を進めていくうえで最も重要な財源となっています。賛助会員への加入は、主に各学区社協を通じて募集していますので、活動の趣旨をご理解いただき、ご協力お願い申し上げます。



平成30年度
賛助会員への加入ありがとうございました

平成30年度
実績

13,452,856円

赤い羽根共同募金にご協力ください



ご協力いただいた共同募金は、主に社会福祉協議会を通じて、山科区の住民全般の地域活動や高齢者・障がい者・子どものための福祉活動等に役立てられます。災害時には「災害ボランティアセンター」の設置や運営等、被災地支援にも役立っています。



京都市山科区社会福祉協議会

〒607-8344 京都市山科区西野大手先町2-1
TEL. 075-593-1294 FAX. 075-594-0294
http://www.mediawars.ne.jp/fukusi08/
メール fukusi08@mediawars.ne.jp



Be-Vo

ビーボ



京都市山科区社会福祉協議会
令和元年度事業計画・予算

令和元(2019)年7月

世代や分野をこえて、
できる人ができる時に
できる事で支え合い、
心豊かな暮らしを築ける
地域へ

発行者/佐治俊彦
編集者/吉川 彰



機関誌Be-Voは
一部共同募金の助成金で
発行しています。



健康すこやか学級(山階学区)

笑顔あふれる、健康づくりの場



健康すこやか学級は、体操や脳トレ・健康講座など高齢者の介護予防を目的に、各学区社協で実施されています。参加者同士の交流や子どもとのふれあいを通じて、地域の絆を広げる重要な取組でもあります。各学区で参加者を募集しています。詳細は、山科区社協までお問い合わせください。

社会福祉協議会(社協)って？

社会福祉協議会(社協)は、社会福祉法に基づく社会福祉法人で、地域福祉の推進を目的としている民間組織です。福祉の問題について考え、誰もが安心して地域で暮らしていける福祉のまちづくりのために、地域の皆様とともに一緒に取り組んでいます。



お願いします

あなたにできる「支え合い」があります。

まずは、「あいさつ」

ご近所に、笑顔で声かけができるようなつながりを増やしましょう

そして、「気づき」

あなたの「気になる人」は、「困っている人」かもしれません。



「何かお困りですか?」と尋ねてみたり、気になったらほかの誰かに相談したりして、「気づき」をつなげてみてください。

